



栗田工業株式会社

2024年3月期 上期
決算説明会

(証券コード：6370)

2023年11月8日

1		2024年3月期 上期実績	p1-8
2		2024年3月期 通期予想	p9-17
3		重点施策の進捗	p18-23

1 | 2024年3月期 上期実績

業績概況



(単位：億円)		2023/3期 上期 実績	2024/3期 上期 実績	前年同期比	上期予想 (5/11発表)	
受	注	高	2,004	1,864	△ 7.0%	1,750
売	上	高	1,607	1,884	+ 17.2%	1,810
事	業	利	166	181	+ 8.7%	162
そ	の	他	△ 3	+ 2	—	△ 5
の	業	の	163	183	+ 11.9%	157
営	業	利	175	182	+ 3.9%	155
税	引	前	124	126	+ 1.8%	105
親	会	社	110.15	112.05	+ 1.7%	93.42
の	所	有				
者	者	に				
に	帰	属				
す	る					
四	半	期				
利	益					
1	株	当				
た	り	四				
半	期	利				
益	(円				
)						
為 替 レ ー ト	USD (円)		134.0	141.0		135.0
	EUR (円)		138.7	153.4		138.5
	CNY (円)		19.9	19.8		19.7

- 第2四半期より、アルカデ・エンジニアリング社の新規連結影響を含む（一般水処理セグメントで計上）。
- 前期は、税引前四半期利益において金融収益として、ペンタゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得に伴い実施したデリバティブ取引の差益（11億円）を計上。

セグメント別業績

(単位：億円)		2023/3期 上期 実績	2024/3期 上期 実績	前年同期比	上期予想 (5/11発表)
全社	受注高	2,004	1,864	△ 140	1,750
	売上高	1,607	1,884	+ 277	1,810
	事業利益	166	181	+ 15	162
	事業利益率	10.3%	9.6%	△ 0.7pp	9.0%
	営業利益	163	183	+ 19	157
電子	受注高	935	788	△ 147	680
	売上高	674	876	+ 202	810
	事業利益	100	91	△ 9	74
	事業利益率	14.8%	10.4%	△ 4.4pp	9.1%
	営業利益	99	94	△ 6	74
一般水処理	受注高	1,069	1,076	+ 7	1,070
	売上高	933	1,008	+ 75	1,000
	事業利益	66	89	+ 23	88
	事業利益率	7.1%	8.9%	+ 1.8pp	8.8%
	営業利益	64	89	+ 25	83

電子

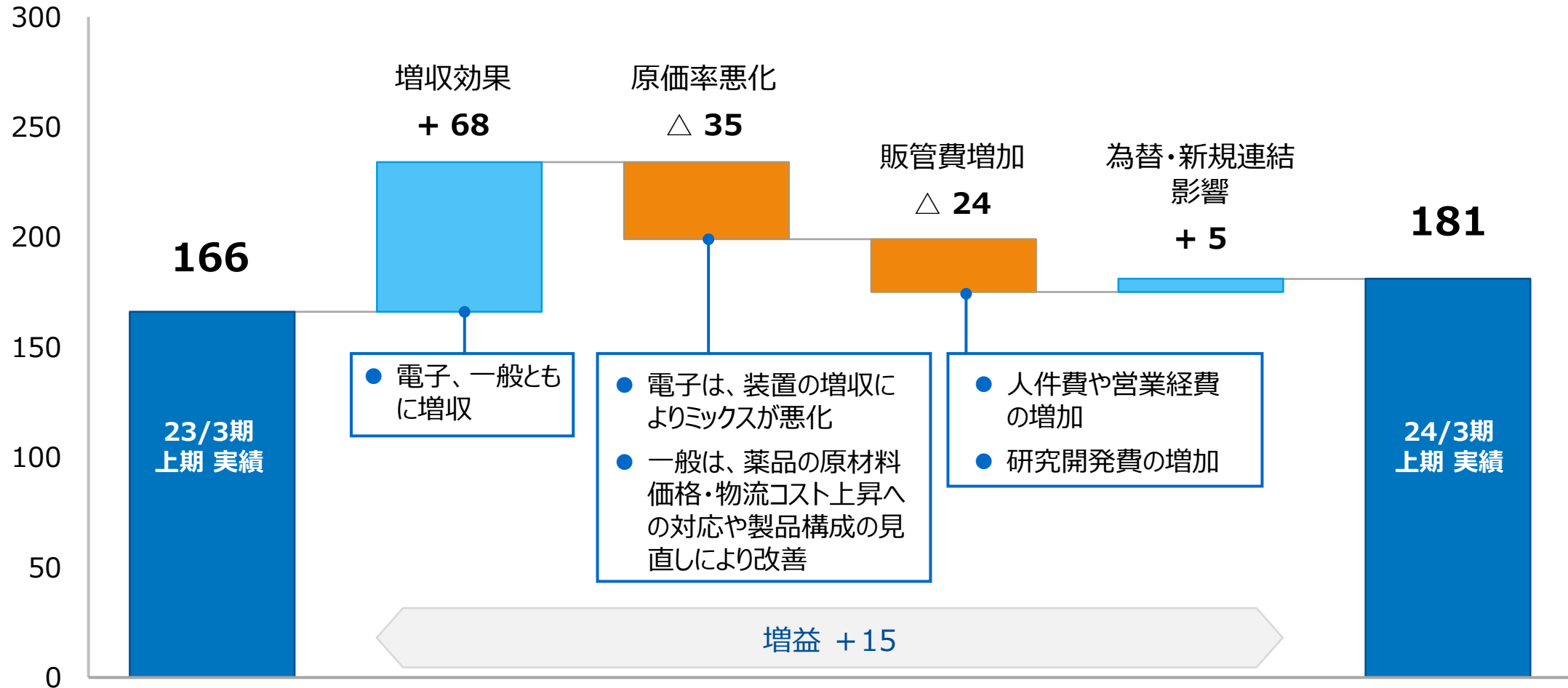
- 受注高は主に装置と精密洗浄、メンテナンスの減少により前年同期を下回る。
- 売上高は主に装置の受注済み案件の工事進捗により増加。
- 事業利益はサービス事業の売上高構成比の減少による原価率悪化と販管費増の影響が増収効果を上回り減益。

一般水処理

- 第2四半期より、アルカデ・エンジニアリング社の新規連結影響を含む。
- 為替・新規連結影響を除くオーガニックでは、受注高は前年同期を下回るが、売上高は装置・メンテナンス案件の工事進捗により増加。
- 事業利益は、増収と原価率改善の効果が、販管費増の影響を上回り増益。

上期事業利益の増減要因 (前年同期比)

(単位：億円)



(単位：億円)	2023/3期 上期 実績	2024/3期 上期 実績	前年同期比	上期予想 (5/11発表)
受注高	935	788	△ 147	680
装置	400	279	△ 121	181
継続契約型サービス	202	228	+ 26	224
サービス	333	281	△ 52	275
薬品	56	51	△ 5	54
精密洗浄	144	119	△ 25	128
メンテナンス	133	111	△ 23	93
売上高	674	876	+ 202	810
装置	192	388	+ 197	334
継続契約型サービス	202	227	+ 26	226
サービス	281	260	△ 20	250
薬品	56	52	△ 4	54
精密洗浄	143	119	△ 24	128
メンテナンス	81	89	+ 8	68

- 装置の受注高は、前年同期に大型装置案件を獲得した反動により減少。売上高は、主に日本と中国の受注済み案件の売上計上により増収。
- 継続契約型サービスは、水供給の増加により増収。
- 精密洗浄事業は、顧客工場の稼働状況の影響を受け減収。
- メンテナンスの受注高は、前年同期が受注前倒し等により高水準であったことから反動で減少。売上高は、日本、海外ともに増収。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 194
為替影響	+ 8

一般水処理セグメント

(単位：億円)	2023/3期 上期 実績	2024/3期 上期 実績	前年同期比	上期予想 (5/11発表)
受注高	1,069	1,076	+ 7	1,070
装置	137	137	△ 1	123
継続契約型サービス	35	49	+ 15	50
サービス	897	890	△ 7	897
薬品	600	582	△ 18	623
メンテナンス	259	260	+ 1	237
その他	38	48	+ 10	37
売上高	933	1,008	+ 75	1,000
装置	79	117	+ 38	91
継続契約型サービス	32	51	+ 19	53
サービス	823	840	+ 18	856
薬品	595	581	△ 15	618
メンテナンス	187	221	+ 34	193
その他	40	39	△ 1	45

- 装置では、アルカデ・エンジニアリング社の新規連結影響を除くと受注高は減少も、売上高は受注済み案件の工事進捗により日本、海外ともに増収。
- 継続契約型サービスは、日本、海外ともに伸長。
- 薬品は、主に中国での顧客工場の稼働状況の影響や製品構成の見直しにより、受注高・売上高が減少。
- メンテナンスの受注高は前年同期並みも、売上高は、日本での洗浄案件の実施や工事の進捗により増収。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 28
為替影響	+ 32
新規連結影響	+ 15

地域別売上高・CSVビジネス売上高



地域別売上高（全社連結）

(単位：億円)	2023/3期 上期 実績	2024/3期 上期 実績	前年同期比	上期予想 (5/11発表)
日本	795	975	+ 179	919
アジア	360	431	+ 71	420
北南米	304	303	△ 2	316
EMEA	147	175	+ 28	154
合計	1,607	1,884	+ 277	1,810

地域別売上高（一般水処理セグメント）

(単位：億円)	2023/3期 上期 実績	2024/3期 上期 実績	前年同期比	上期予想 (5/11発表)
日本	459	501	+ 42	467
アジア	120	112	△ 8	144
北南米	207	220	+ 12	234
EMEA	147	175	+ 28	154
合計	933	1,008	+ 75	1,000

地域別売上高（電子セグメント）

(単位：億円)	2023/3期 上期 実績	2024/3期 上期 実績	前年同期比	上期予想 (5/11発表)
日本	337	473	+ 137	452
アジア	240	320	+ 79	276
北南米	97	83	△ 14	82
EMEA	—	—	—	—
合計	674	876	+ 202	810

CSVビジネス売上高

(単位：億円)	2024/3期 上期実績	売上高に占める比率※
全社連結	192	10.2%
内訳		
電子セグメント	63	7.2%
一般水処理セグメント	129	12.8%

※全社連結または各セグメントの売上高に占める比率

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2023/3期 上期実績	2024/3期 上期実績	前年同期比
設備投資額（有形*）	265	153	△ 112
減価償却費（有形*）	122	139	+ 17
研究開発費	30	36	+ 5

* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、水供給向けの投資額の減少により、前年同期比で減少。
- 減価償却費は、前期に開始した水供給案件の影響により前年同期比で増加。
- 研究開発費は、イノベーション創出に向けた取り組み強化により増加。

財政状態

(単位：億円)	2023年3月末	2023年9月末	増減
現金及び現金同等物	505	491	△ 13
その他流動資産	1,459	1,616	+ 156
流動資産合計	1,964	2,107	+ 143
有形固定資産	1,787	1,822	+ 34
のれん	604	694	+ 90
その他非流動資産	660	666	+ 6
非流動資産合計	3,051	3,181	+ 129
資産合計	5,015	5,288	+ 272
流動負債	1,095	1,164	+ 69
非流動負債	963	948	△ 15
負債合計	2,058	2,112	+ 54
親会社の所有者に帰属する持分	2,940	3,157	+ 217
非支配持分	18	19	+ 1
資本合計	2,958	3,176	+ 218
負債及び資本合計	5,015	5,288	+ 272

- その他流動資産は、契約資産および売上債権が増加。
- 有形固定資産は主に水供給事業用設備の取得により増加。
- のれんは、アルカデ・エンジニアリング社の株式の取得と為替影響により増加。
- 資本合計は、主に円安外国通貨高に伴う在外営業活動体の換算差額の計上と利益剰余金の増加により増加。

2 | 2024年3月期 通期予想

- 日本の経済は成長を維持し、デジタル化・脱炭素化など、中長期視点の投資が進む。
- 海外は、中国を除くアジアおよび米国では緩やかな景気回復が見られるも、欧州は物価上昇や金利引き上げの影響により経済活動は伸び悩む。中国では不動産市場の低迷長期化の影響により、景気回復の動きが停滞。
- 半導体市場は生産調整の局面は下半期まで継続し、来期より持ち直しの動き。
- 需給バランスの変化による部材の不足や長納期化は継続。

業績予想の概要



(単位：億円)		2023/3期 実績	2024/3期 予想 (11/7発表)	前期比	期初予想 (5/11発表)
受	注 高	3,743	3,650	△ 2.5%	3,500
売	上 高	3,446	3,800	+ 10.3%	3,750
事	業 利 益	386	400	+ 3.7%	400
そ	の 他 の 収 支	△ 95	△ 3	—	△ 10
営	業 利 益	291	397	+ 36.6%	390
税	引 前 四 半 期 利 益	302	392	+ 30.0%	382
親	会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 四 半 期 利 益	201	280	+ 39.1%	270
1	株 当 たり 四 半 期 利 益 (円)	179.14	249.06	+ 39.0%	240.21
為 替 レ ー ト	USD (円)	135.5	139.7		135.0
	EUR (円)	141.0	152.5		138.5
	CNY (円)	19.8	19.7		19.7

- 前期は、営業利益においてその他の費用としてクリタ・アメリカ社の水処理薬品事業に関するのれんの減損損失(△76億円)を計上したほか、税引前四半期利益において金融収益として、ペントゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得に伴い実施したデリバティブ取引の差益(11億円)を計上。

セグメント別業績予想

(単位：億円)		2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想 (11/7 発表)	前期比	期初予想 (5/11 発表)
全社	受注高	3,743	3,650	△ 93	3,500
	売上高	3,446	3,800	+ 354	3,750
	事業利益	386	400	+ 14	400
	事業利益率	11.2%	10.5%	△ 0.7pp	10.7%
	営業利益	291	397	+ 106	390
電子	受注高	1,699	1,495	△ 204	1,400
	売上高	1,493	1,660	+ 167	1,625
	事業利益	218	190	△ 28	181
	事業利益率	14.6%	11.4%	△ 3.1pp	11.1%
	営業利益	209	190	△ 19	181
一般水処理	受注高	2,044	2,155	+ 111	2,100
	売上高	1,953	2,140	+ 187	2,125
	事業利益	169	210	+ 41	219
	事業利益率	8.7%	9.8%	+ 1.2pp	10.3%
	営業利益	82	207	+ 125	209

電子

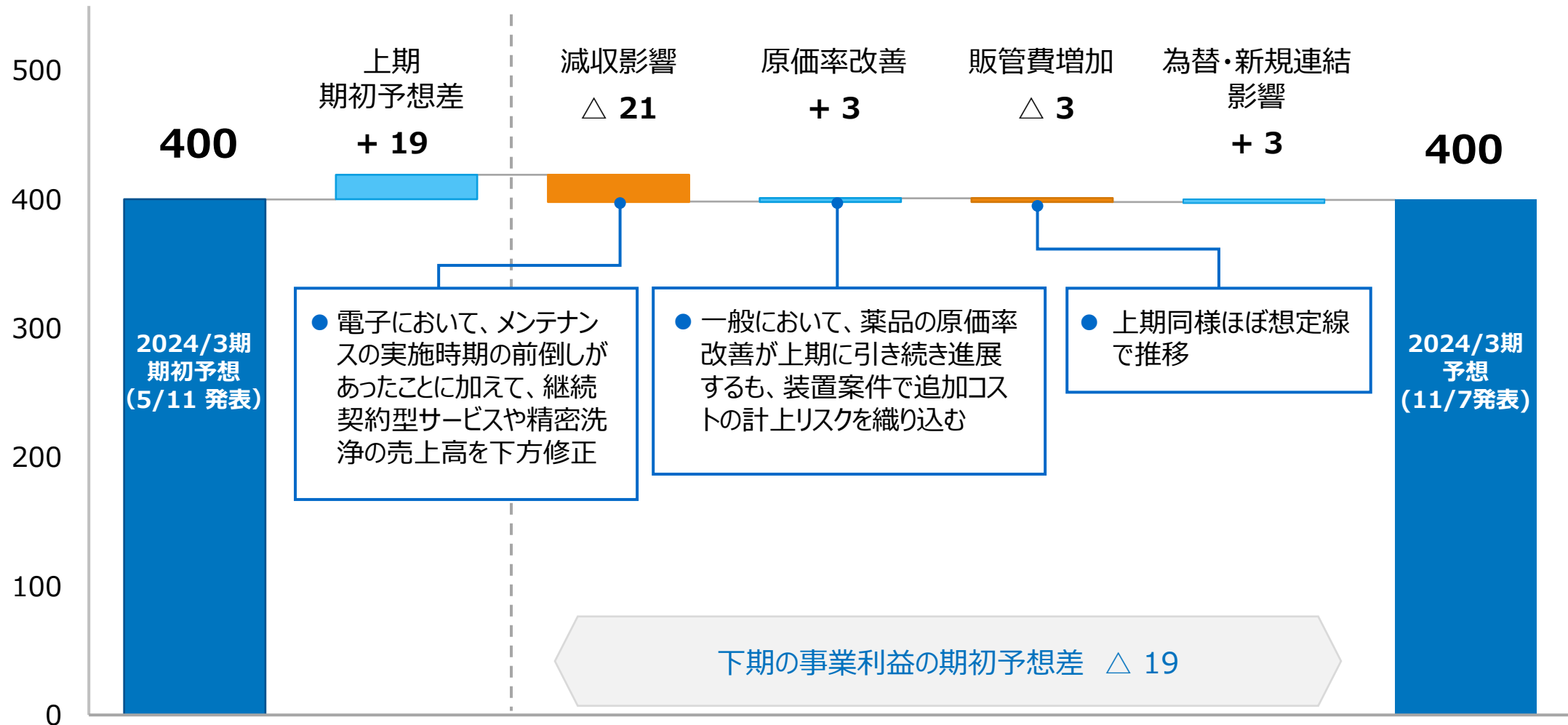
- 受注高、売上高、事業利益ともに、上期の進捗を反映して上方修正。

一般水処理

- 為替・新規連結影響を除くオーガニックでは、主に薬品の売上高が期初予想を下回る見通し。この減収影響に加えて、下期に装置案件の追加コストの計上リスクを織り込み事業利益も下方修正。

通期事業利益の増減要因 (期初予想比)

(単位：億円)



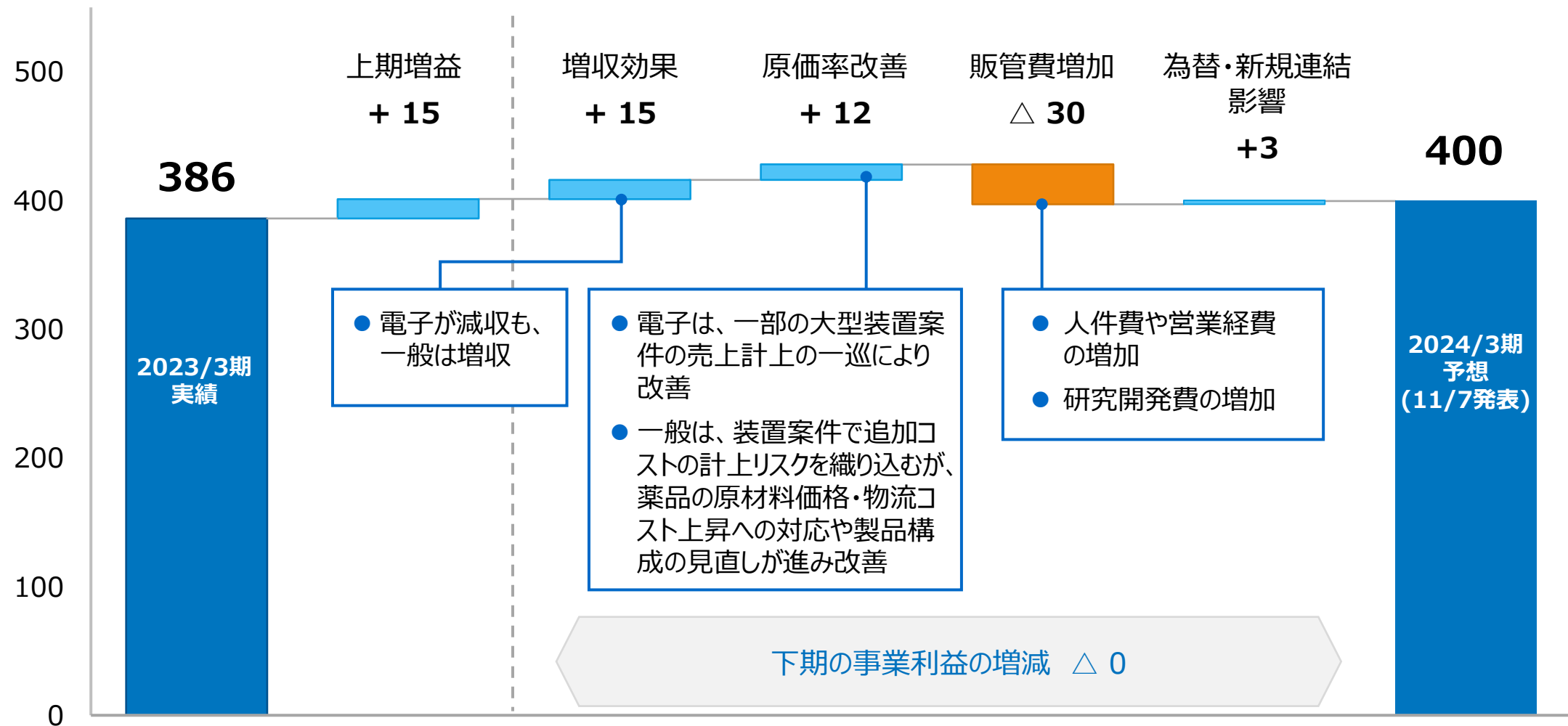
● 電子において、メンテナンスの実施時期の前倒しがあったことに加えて、継続契約型サービスや精密洗浄の売上高を下方修正

● 一般において、薬品の原価率改善が上期に引き続き進展するも、装置案件で追加コストの計上リスクを織り込む

● 上期同様ほぼ想定線で推移

通期事業利益の増減要因 (前期比)

(単位：億円)



- 電子が減収も、一般は増収

- 電子は、一部の大型装置案件の売上計上の一巡により改善
- 一般は、装置案件で追加コストの計上リスクを織り込むが、薬品の原材料価格・物流コスト上昇への対応や製品構成の見直しが進み改善

- 人件費や営業経費の増加
- 研究開発費の増加

(単位：億円)	2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想 (11/7発表)	前期比	期初予想 (5/11発表)
受注高	1,699	1,495	△ 204	1,400
装置	686	484	△ 202	382
継続契約型サービス	423	452	+ 29	463
サービス	590	560	△ 31	555
薬品	107	110	+ 3	106
精密洗浄	277	247	△ 30	270
メンテナンス	207	203	△ 4	178
売上高	1,493	1,660	+ 167	1,625
装置	501	668	+ 167	601
継続契約型サービス	421	450	+ 29	466
サービス	571	542	△ 28	559
薬品	107	108	+ 1	107
精密洗浄	276	248	△ 28	270
メンテナンス	188	187	△ 1	182

- 装置は、アジアでの案件獲得の影響により受注高・売上高ともに上方修正。
- 継続契約型サービスは、水供給計画の見直しにより受注高・売上高ともに下方修正。
- 精密洗浄事業は、顧客工場の稼働状況の影響が下期にも継続すると見込み、受注高、売上高ともに下方修正。
- メンテナンスは、日本と韓国での進捗を踏まえて受注高・売上高ともに上方修正。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 156
為替影響	+ 11

一般水処理セグメント

(単位：億円)	2023/3期 実績 (参考値)	2024/3期 予想 (11/7発表)	前期比	期初予想 (5/11発表)
受注高	2,044	2,155	+ 111	2,100
装置	264	296	+ 32	259
継続契約型サービス	67	109	+ 43	97
サービス	1,713	1,750	+ 36	1,744
薬品	1,201	1,205	+ 3	1,246
メンテナンス	435	457	+ 21	422
その他	76	88	+ 12	76
売上高	1,953	2,140	+ 187	2,125
装置	200	277	+ 77	245
継続契約型サービス	58	105	+ 47	94
サービス	1,695	1,758	+ 63	1,786
薬品	1,197	1,193	△ 4	1,243
メンテナンス	415	463	+ 47	439
その他	83	102	+ 20	104

- 装置の売上高は、上期実績と新規連結影響を反映し上方修正。
- 薬品は、中国で顧客工場の稼働状況の影響を受けていることに加え、製品構成の見直しを進めることから、受注高・売上高ともに下方修正。
- メンテナンスおよび継続契約型サービスは、上期の売上進捗を踏まえて上方修正。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 98
為替影響	+ 48
新規連結影響	+ 40

地域別売上高・CSVビジネス売上高



地域別売上高（全社連結）

（単位：億円）	2023/3期実績 （参考値）	2024/3期予想 （11/7発表）	前期比	期初予想 （5/11発表）
日本	1,785	1,959	+ 174	1,965
アジア	767	845	+ 78	837
北南米	599	635	+ 36	637
EMEA	295	362	+ 67	310
合計	3,446	3,800	+ 354	3,750

地域別売上高（一般水処理セグメント）

（単位：億円）	2023/3期実績 （参考値）	2024/3期予想 （11/7発表）	前期比	期初予想 （5/11発表）
日本	997	1,060	+ 63	1,059
アジア	246	257	+ 11	293
北南米	415	462	+ 47	463
EMEA	295	362	+ 67	310
合計	1,953	2,140	+ 187	2,125

地域別売上高（電子セグメント）

（単位：億円）	2023/3期実績 （参考値）	2024/3期予想 （11/7発表）	前期比	期初予想 （5/11発表）
日本	788	899	+ 111	906
アジア	521	588	+ 67	544
北南米	184	173	△ 11	175
EMEA	—	—	—	—
合計	1,493	1,660	+ 167	1,625

CSVビジネス売上高

（単位：億円）	2024/3期 予想 （11/7発表）	売上高に占める比率※
全社連結	450	11.8%
電子セグメント	140	8.4%
一般水処理セグメント	310	14.5%

※全社連結または各セグメントの売上高に占める比率

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2023/3期 実績	2024/3期 予想 (11/7発表)	前期比	期初予想 (5/11発表)
設備投資額 (有形※)	466	400	△ 66	357
減価償却費 (有形※)	258	273	+ 15	273
研究開発費	63	76	+ 12	76

※ 使用権資産含む。

- 設備投資額は、主に新規水供給案件向けの投資を見込み、期初予想比で増加。
- 減価償却費は、研究開発費は期初予想を据え置き。

3 | 重点施策の進捗

特性が異なる二つの市場に最適な形で価値起点のビジネスを展開

電子セグメント

- 水供給事業の進化
- 精密洗浄事業の基盤強化
- 欧米における新たな事業基盤構築
- 生産プロセスの変革とサプライチェーン強化

一般水処理セグメント

- CSVビジネスの拡大
- 展開加速のためのデジタル基盤活用
- 米国事業の収益改善
- 循環型社会へ貢献する新規事業への挑戦

収益性向上と資本効率の改善

お客様の課題に広く対応するビジネスモデルが顧客層拡大に寄与

従来型の水供給サービス

アウトソーシング

- 初期投資
- 水処理設備の建設・
運転管理・メンテナンス

お客様への提供価値

イニシャルコストの抑制

水処理はプロに任せて
コア事業に専念

20年以上の実績で得られた「水に関する知」

- サービスの対象を水処理設備から水処理に関わるユーティリティ設備にまで拡大
- 運転の安定化や運転コストの最適化につながるAI・IoT技術を導入
- 安全運転、環境負荷低減やコストダウンに関するノウハウ・データを蓄積

新サービス

工場全体の環境負荷低減に寄与する 水供給サービス

サービス対象範囲を拡大させて
工場全体を俯瞰したサービスへと進化

お客様への提供価値

イニシャルコストの抑制

水処理・ユーティリティ管理を
プロに任せてコア事業に専念

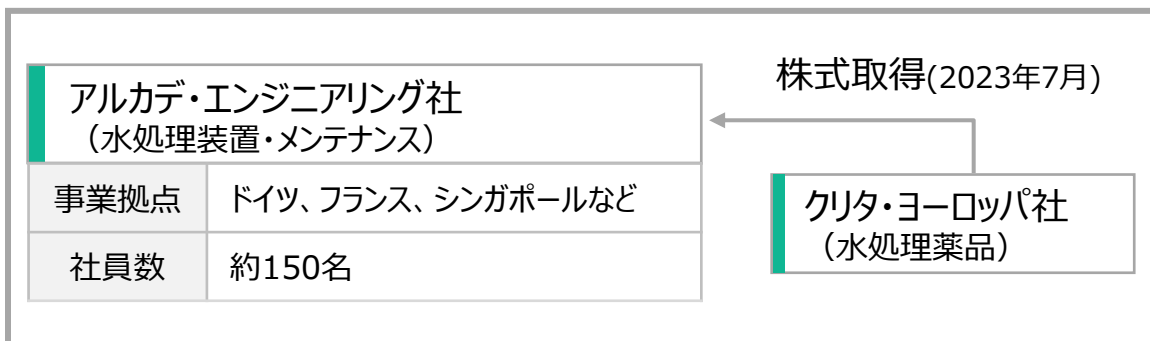
対象
拡大

環境負荷低減・コストダウン

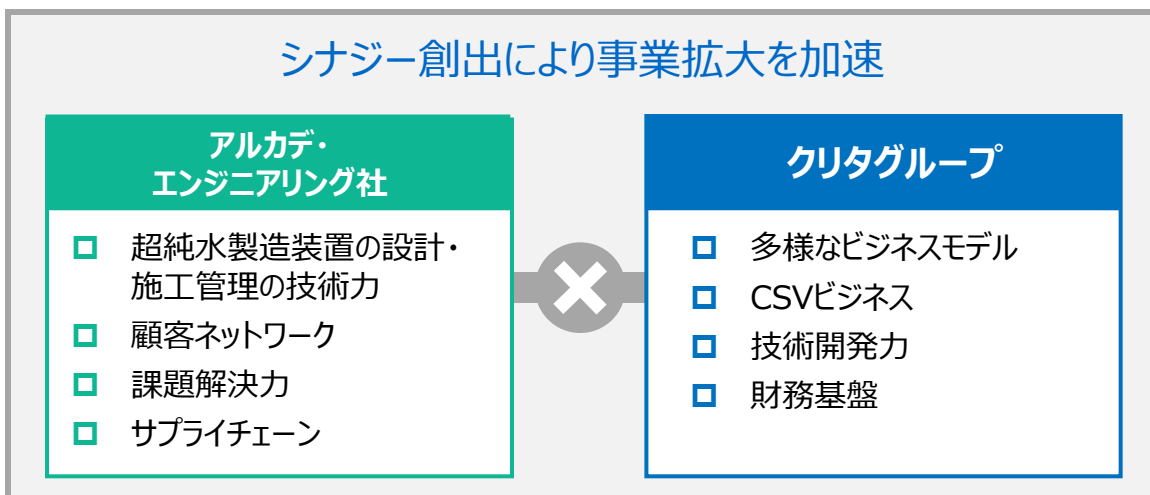
新規
追加

半導体法を背景とした水処理装置の需要拡大に対応

欧州

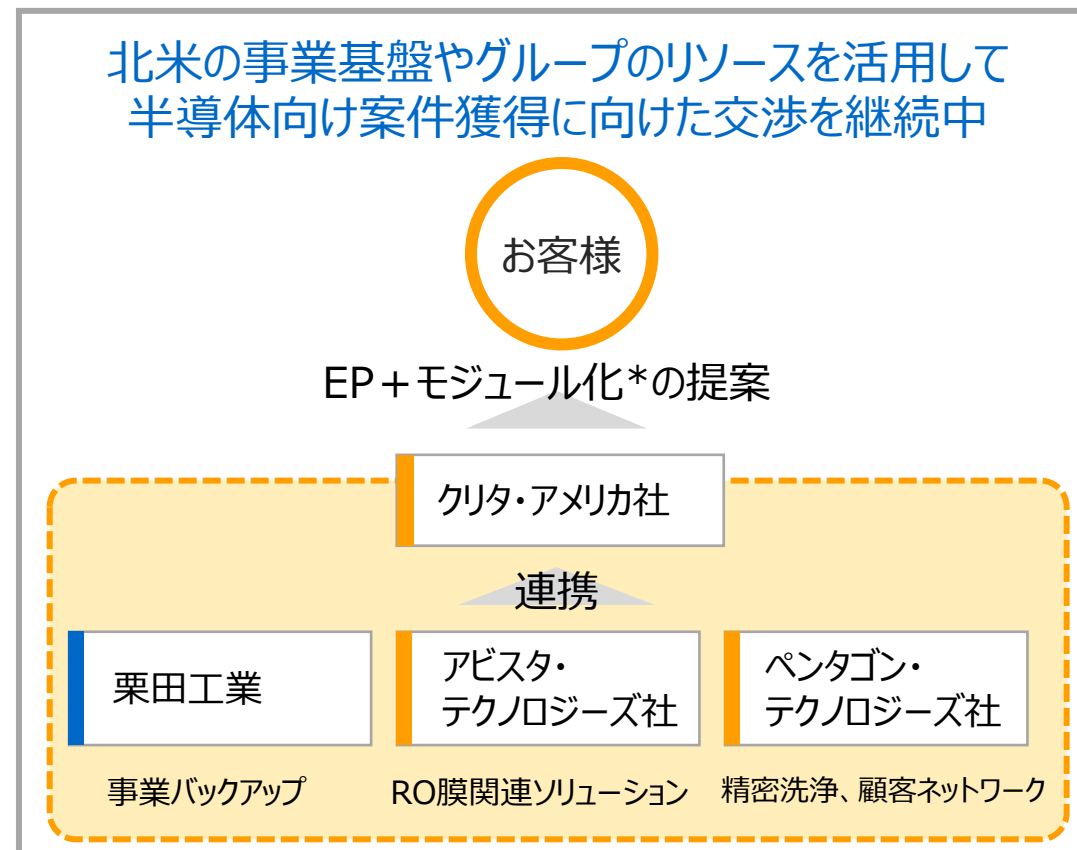


シナジー創出により事業拡大を加速



北米

北米の事業基盤やグループのリソースを活用して半導体向け案件獲得に向けた交渉を継続中



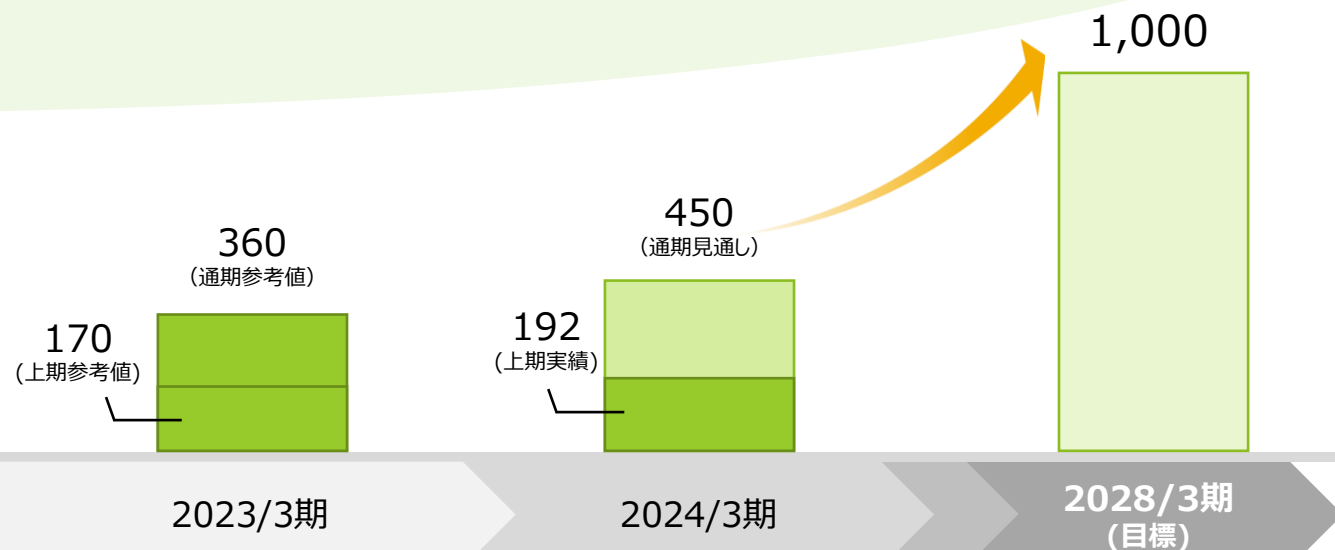
*EP(Engineering & Procurement)+モジュール化・・・装置の建設を顧客工場内では行わず、完成済みの水処理装置をモジュール化し顧客工場内で組み立てる工法

社会との共通価値創造を通じて収益性を改善

CSV (Creating Shared Value) ビジネス

節水、GHG*排出削減、廃棄物の資源化または資源投入量削減に大きく貢献する製品、技術、ビジネスモデル (2023年10月時点:全62種)

CSVビジネス売上高 (億円)



*Greenhouse Gas (温室効果ガス)

現状の課題

従来ビジネスと比べて、高い収益性は確保できている一方で規模拡大の進捗が弱い

市場規模や競争優位性を踏まえた
取り組みを展開

主な施策

- ①注カビジネスの明確化と拡大
- ②地域特性に特化した課題解決提案
- ③新たなCSVビジネスの創出

環境課題・エネルギーコスト低減ニーズなどに対応

Kurita Dropwise Technology

蒸気式熱交換器の金属表面における水膜の形成を防止し、生産製造プロセスにおける蒸気の熱交換効率を向上

エネルギーコスト

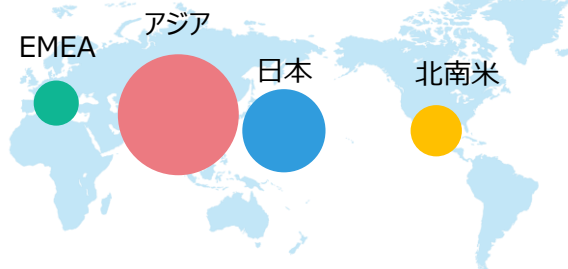


生産性向上



市場ポテンシャル

アジアをはじめ世界中に対象市場が広がる



産業インフラ分野

- 設備の規模が大きくエネルギー使用量削減ポテンシャルの高い生産プロセスにアプローチ

〔ターゲット市場〕



紙・パルプ



石油精製・石油化学 etc.

その他分野

- トップダウン営業によるスピーディな展開
- グループ全体で好事例を共有できるデータ基盤を整備し、水平展開を加速

新体制のもと、事業規模拡大とコスト構造見直しを推進

クリタ・アメリカ社

2020年4月
北米の水処理薬品・装置事業を展開する3社を統合

外部環境

- 事業ポートフォリオの見直し
- 水処理薬品の製品規格の統合と物流システムの整備

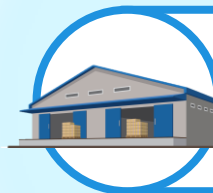
2023年4月～
欧米リージョン統括の設置、新体制による改革を推進

24/3期
上期

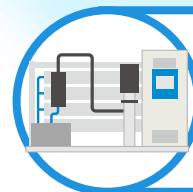
収益性改善が堅調に進捗



CSVビジネス拡大に向けた
組織体制・仕組みの整備



水処理薬品の
サプライチェーンマネジメント
の強化



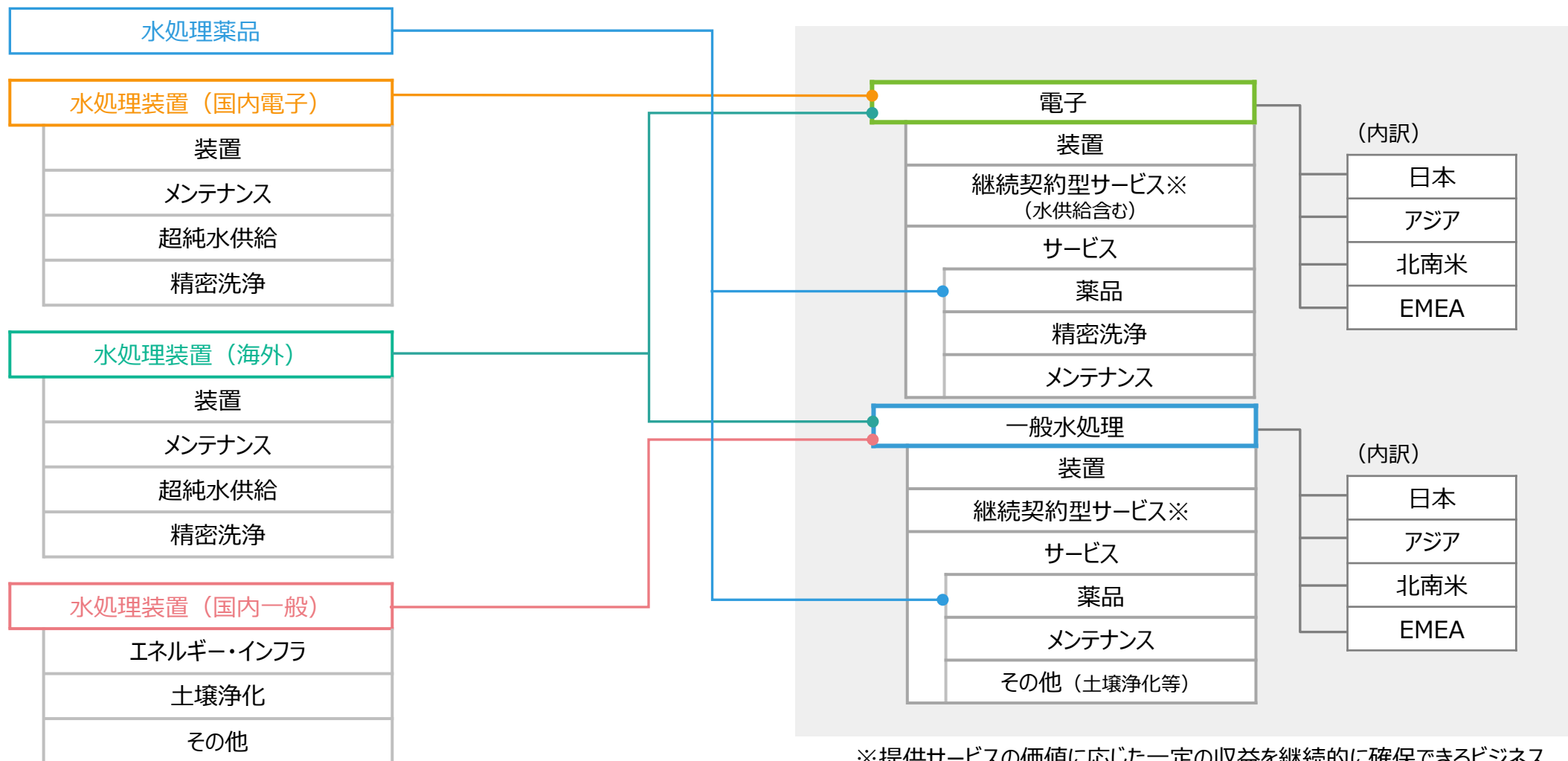
注力分野への
水処理装置事業の展開

高収益化を
実現

〔参考〕セグメント変更

～2023年3月期

2024年3月期～





将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している製品・サービス名およびロゴは、当社または他社の商標または登録商標です。